

明石藩の文化人 展示資料リスト

2025.9.19～11.19

梁田蛻巖（やなだ ぜいがん）とゆかりの人びと

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	請求記号		
梁田蛻巖：明石藩儒。景德館を設立し藩士の教育に当たる。							
1	森銑三著作集 第8巻	森 銑三 著	中央公論社	1974	081.6	8	8
2	森銑三著作集 続編 第7巻	森 銑三 著	中央公論社	1993.10	081.6	8	20
3	元禄俳人宝井其角	今泉 準一 著	桜楓社	1972	911.3	3	
4	梁田蛻巖全集 上	梁田 蛻巖 著	明石市教育委員会	1959.3	919.6	10	1
5	梁田蛻巖全集 下	梁田 蛻巖 著	明石市教育委員会	1959.3	919.6	10	2
6	明石市史資料 第2集 上巻	黒田 義隆 編集責任	明石市教育委員会	1981.3	216.4	78	2-1
7	梁田蛻巖先生二百回忌記念誌	梁田蛻巖先生顕彰会 編	明石市教育委員会	1957.3	121.4	27	
8	明石藩略史	黒田 義隆 著	明石葵会	1981.10	216.4	124	
9	詩集日本漢詩		汲古書院	1985	919	18	
10	梁田蛻巖関係資料展示会目録	兵庫県教育委員会 編	兵庫県教育委員会	1965	121.3	39	
11	近世儒家文集集成	相良 亨 〔ほか〕編集委員	ベリかん社	1985.7	121.3	27	5
12	梁田蛻巖・秋山玉山	梁田 蛻巖 著	岩波書店	1992	919.5	36	2
13	梁田蛻巖全集	梁田 蛻巖 著	日蓮宗本立寺	1996.7	919.6	K3	
14	蛻巖梁田邦美	黒田 義隆 著	兵庫県教育委員会	1965	121.4	26	
15	明石郷土資料 4	永瀬 巖 編	〔永瀬巖〕	1996	291.6	122	4
16	明石郷土資料 6	永瀬 巖 編	〔永瀬巖〕	1997.3	291.6	122	6
17	江戸詩人伝	徳田 武 著	ベリかん社	1986.5	919.5	31	
18	明石市史資料 第6集 〔本編〕 近世篇	黒田 義隆 編集責任	明石市教育委員会	1985.3	216.4	78	6-1
19	はりま人物誌	中野 直行 編	播磨学研究所	2004.10	281.6	K44	
20	明石藩の世界 3	明石市 編集	明石市立文化博物館	2015.12	216.4	K212	3
室鳩巢：儒者。梁田蛻巖が漢詩を送るなど交流があった。							
21	中村 惕斎・室 鳩巢	柴田 篤 著	明徳出版社	1983.12	121	46	11
22	近世儒家文集集成	相良 亨 〔ほか〕編集	ベリかん社	1991.10	121.3	27	13
23	詩文と経世	山本 嘉孝 著	名古屋大学出版会	2021.10	919.5	77	
24	武士の道徳学	川平 敏文 著	KADOKAWA	2024.6	121.5	20	
室井其角：梁田蛻巖が俳諧を学んだ。『五元集』に蛻巖へ贈った俳句がある。							
25	宝井其角	田中 善信 著	新典社	2000.11	911.3	76	
26	説話のなかの江戸武士たち	白石 良夫 著	岩波書店	2002.8	210.5	493	
27	詩の兩岸をそぞろ歩きする	飯島 耕一 著	清流出版	2004.1	911.5	83	
28	其角生誕三五〇年記念集	其角座継承会 編	其角座継承会	2010.7	911.3	88	
江村北海：明石で生まれる。宮津藩藩儒。梁田蛻巖に漢詩を学んだ。							
29	日本哲学思想全書	三枝 博音 編集委員	平凡社	1980.8	121	51	12
30	詞華集日本漢詩	富士川 英郎 〔ほか〕編集	汲古書院	1983	919	14	2
清田儋史：江村北海の弟。越前藩藩儒。梁田蛻巖に漢詩を学んだ。							
31	照世盃	酌元亭主人 著	ゆまに書房	1976	923.5	14	
32	日本古典文学大系 96		岩波書店	1978	918	1	96
大田南畝：狂歌師。『仮名世説』の中で梁田蛻巖について触れており、『小春紀行』『革命紀行』で明石のことを書いている。							
33	大田南畝全集 8	大田 南畝 〔著〕	岩波書店	1986.4			
34	大田南畝全集 9	大田 南畝 〔著〕	岩波書店	1987.6			
35	大田南畝全集 10	大田 南畝 〔著〕	岩波書店	1986.12	918.5	21	10

渡辺崋山とゆかりの人びと

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	請求記号		
渡辺崋山：田原藩家老・画家。田原藩と明石藩は江戸藩邸が隣で、崋山は明石藩士と交流があった。							
36	森銑三著作集 第6巻	森 銑三 著	中央公論社	1973	081.6	8	6
37	俳画歳時記		平凡社	1981	724.1	90	
38	「蛭社の獄」のすべて	田中 弘之 著	吉川弘文館	2011.7	210.6	224	
39	渡邊崋山と明石藩	山野 聖二 著	〔山野聖二〕	1993.11	721.7	31	
40	渡辺崋山書簡集	渡辺 崋山 〔著〕	平凡社	2016.12	289.1	5062	
41	崋山の研究	菅沼 貞三 著	木耳社	1969	721.7	2	
42	渡辺崋山遺墨帖	渡辺 崋山 著	歴史図書社	1975	721.7	8	
43	日本を創った人びと	日本文化の会 編集	平凡社	1979.2	281	41	23

44	渡辺華山の写生帖	渡辺 華山 著	グラフィック社	1980	724.1	26	
45	華山書簡集	渡辺 華山 著	国書刊行会	1982	721.7	18	
46	定本渡辺華山 第1巻	渡辺 華山 〔著〕	郷土出版社	1991.3	721.7	28	1
47	定本渡辺華山 第2巻	渡辺 華山 〔著〕	郷土出版社	1991.3	721.7	28	2
48	定本渡辺華山 第3巻	渡辺 華山 〔著〕	郷土出版社	1991	721.7	28	3
49	森銃三著作集 続編 第2巻	森 銃三 著	中央公論社	1992.12	081.6	8	15
50	渡辺華山集 第一巻	渡辺 華山 著	日本図書センター	1999.1	081.5	28	1
51	渡辺華山集 第二巻	渡辺 華山 著	日本図書センター	1999.1	081.5	28	2
52	渡辺華山集 第三巻	渡辺 華山 著	日本図書センター	1999.1	081.5	28	3
53	渡辺華山集 第四巻	渡辺 華山 著	日本図書センター	1999.1	081.5	28	4
54	渡辺華山集 第五巻	渡辺 華山 著	日本図書センター	1999.1	081.5	28	5
55	渡辺華山集 第六巻	渡辺 華山 著	日本図書センター	1999.1	081.5	28	6
56	渡辺華山集 第七巻	渡辺 華山 著	日本図書センター	1999.1	081.5	28	7
57	日本美術絵画全集 24	座右宝刊行会 編	集英社	1980.10	720.8	25	24
58	士魂の人渡辺華山探訪	芳賀 登 著	つくばね舎	2004.4	289.1	4068	
谷文晁：画家。渡辺華山が絵を学ぶ。							
59	日本名山図会	谷 文晁 著	国書刊行会	1970	721.7	3	
60	新編日本名山図会	谷 文晁挿図	青溪社	1977	721.7	13	
61	写山楼谷文晁のすべて	渥美 国泰 著	里文出版	2002.5	721.7	46	
62	谷文晁の事績	磯崎 康彦 著	玲風書房	2019.5	721.7	58	
市河米庵：儒家で書家。渡辺華山は市河米庵を尊敬しており肖像画を残している。							
63	異体字研究資料集成 二期一巻	杉本 つとむ 編	雄山閣出版	1995.12	811.2	4	13
64	異体字研究資料集成 二期二巻	杉本 つとむ 編	雄山閣出版	1995.12	811.2	4	14
65	異体字研究資料集成 二期三巻	杉本 つとむ 編	雄山閣出版	1995.12	811.2	4	15
鷹見泉石：古河藩家老で蘭学に通じていた。渡辺華山は鷹見泉石から蘭学を学んだとされ、肖像画を残している。							
66	鷹見泉石日記 1	鷹見 泉石 〔著〕	吉川弘文館	2001.3	289.1	3757	1
67	鷹見泉石日記 2	鷹見 泉石 〔著〕	吉川弘文館	2001.9	289.1	3757	2
68	鷹見泉石日記 3	鷹見 泉石 〔著〕	吉川弘文館	2002.3	289.1	3757	3
69	鷹見泉石日記 4	鷹見 泉石 〔著〕	吉川弘文館	2002.9	289.1	3757	4
70	鷹見泉石日記 5	鷹見 泉石 〔著〕	吉川弘文館	2003.3	289.1	3757	5
71	鷹見泉石日記 6	鷹見 泉石 〔著〕	吉川弘文館	2003.9	289.1	3757	6
72	鷹見泉石日記 7	鷹見 泉石 〔著〕	吉川弘文館	2004.3	289.1	3757	7
73	鷹見泉石日記 8	鷹見 泉石 〔著〕	吉川弘文館	2004.9	289.1	3757	8
74	古河藩幕末史	中川 保雄 編〔著〕	中川保雄	1989.5	213.1	30	
椿椿山：渡辺華山の弟子。明石藩主松平齊宣に絵を教える。							
75	森銃三著作集 第3巻	森 銃三 著	中央公論社	1973	081.6	8	3
76	江戸名作画帖全集		駸々堂出版	1993.12	721	81	3

その他明石藩ゆかりの文化人

No.	書名	著者名	出版者名	出版年	請求記号 1		
石田幽汀・円山応挙：石田幽汀は明石出身の画家で円山応挙の師。円山応挙は天明期江井島に滞在。中尾の住吉神社に神馬の掛額が残る。							
77	円山応挙展	円山 応挙 〔画〕	「円山応挙展」全国実行委員会	1994.1	721.6	7	
78	円山応挙	円山 応挙 著	京都新聞社	1995.7	721.6	10	
79	但馬ゆかりの50人	神戸新聞社 編集	神戸新聞総合出版センター	2005.11	281.6	K52	
80	至宝大乗寺	円山 応挙 〔ほか画〕	国書刊行会	2003.9	721.6	K3	
81	円山応挙	円山 応挙 〔画〕	毎日新聞社	2003.9	721.6	15	
82	絵画円山派概説	倉橋 但斉 著	〔倉橋但斉〕	1972.12	721.6	K1	
83	円山応挙の門人たち	杉本 欣久 編著	黒川古文化研究所	2014.10	721.6	K4	
84	くらべてわかる若冲 v s 応挙	安村 敏信 著	敬文舎	2019.2	721.4	39	
85	円山応挙から近代京都画壇へ		求竜堂	2019.8	721.6	18	
86	円山応挙論	冷泉 為人 著	思文閣出版	2017.11	721.6	16	1
87	応挙の日記 天明八年～寛政二年	川崎 博 著	思文閣出版	2024.6	721.6	20	
88	明石の風物 1	山口 徳二郎 撮影	山口徳二郎	1964.11	291.6	62	1
89	明石の風物 4	山口 徳二郎 撮影	山口徳二郎	1967.11	291.6	62	4
90	兵庫を歩いた近世の画家	兵庫県立歴史博物館 編		1983	721	32	
箕作阮甫・箕作省吾：箕作省吾は地理学者。岳父・箕作阮甫と「坤輿図式」ほかを作成した。明石藩士・藤村覃定が地球儀制作の参考にしている。							
91	箕作阮甫の研究	蘭学資料研究会 編	思文閣出版	1978	289.1	820	
92	箕作省吾	箕作 省吾 著	旺史社	1991.4	290	10	

93	医学書誌論考	大鳥 蘭三郎 著	思文閣出版	1987.4	490.2	86	
94	外国地名受容史の国語学的研究	横田 きよ子 著	和泉書院	2019.12	811	26	
95	明石の文化財	明石市教育委員会 編	明石セントラルライオンズクラブ	1988	709.2	332	
明石の文化人たち							
96	東播磨の文学碑	東播磨文化団体連合会 編	東播磨文化団体連合会	1992	910.2	129	
97	明石の風物 2	山口 徳二郎 撮影	山口徳二郎	1965.11	291.6	62	2
98	近世の画家たち	神戸 市立 博物館 編	神戸市立博物館	1998.7	721	K2	
99	月照寺の至宝	明石市教育委員会 編集	明石市教育委員会	2010.6	702.2	K4	
100	月照寺明石柿本社奉納和歌集	鶴崎 裕雄 編著	和泉書院	2011.8	911.2	K3	
101	明石ゆかりの人物事典	木村 二郎 編著	木村二郎	2013.9	281.6	K66	
102	明石城をめぐる歴史の旅	黒部 亨 著	神戸新聞総合出版センター	2000.8	291.6	K99	
103	明石と芭蕉	上月 乙彦 著	木村書店	1967	911.3	28	
104	明石市史 上巻	黒田 義隆 著	明石市	1972	216.4	9	1
105	明石ゆかりの人びと	兵庫県学校厚生会 編集	兵庫県学校厚生会	1999.11	281.6	K20	
106	明石藩の世界 1	明石市 編集	明石市立文化博物館	2013.9	216.4	K212	1
107	明石藩の世界 6	加納 亜由子 編集	明石市立文化博物館	2018.9	216.4	K212	6
108	柿本人麿と明石	明石市文化・スポーツ室歴史文化財係 編集	明石市立文化博物館	2023.5	911.1	K7	
109	明石藩の世界 12	明石市文化・スポーツ室歴史文化財担当 編集	明石市立文化博物館	2024.9	216.4	K212	12